

2023年4月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済については、個人消費が緩やかに持ち直しているが
企業活動にはやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年4月25日公表）において、「景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」との判断が維持された。個別項目については、倒産件数について判断が引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に3月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「住宅建設」、「設備投資」、「公共投資」、「輸出」のいずれについても、前月の判断が維持された。

② 企業活動に関しては、「生産」、「企業収益」、「業況判断」の判断は前月から維持された。ただし、「倒産件数」については、足下での増加傾向を受けて、「増加がみられる」との判断に下方修正された。コロナ禍を受けた実質無利子・無担保の「ゼロゼロ融資」の返済が本格化すると同時に、物価高・人手不足が倒産件数増加の要因となっている。

③ 雇用情勢に関しては、「持ち直している」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「消費者物価」について、「上昇している」との判断が維持される一方で、「国内企業物価」は「このところ横ばいとなっている」との判断に変更となった。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている」との判断が維持された。コロナ禍からの持ち直しの動きが続く中国については、2か月連続で判断が引き上げられた。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（全店、3月）は、前年比0.8%増となり、6か月連続で前年を上回った。新型コロナ対策としてのマスク着用について、3月13日以降、個人の判断に委ねられることになった。花見などの行楽需要も持ち直しに向かっている。ただし、肉類・魚類などの生鮮食品に加えて、飲料、酒類、乳製品、パン類、一般食品の価格が上昇しており、和歌山市内の食品価格は前年比8.6%の上昇となっており、家計の節約志向の高まりが懸念される。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、3月）は、前年比13.2%増となり、7か月連続で前年を大きく上回った。ただし、世界的な半導体不足の影響に伴う新車の供給難は一昨年の6月頃から本格化しており、足下の販売台数の増加は、その影響の一巡によるところが大きい。半導体不足の影響は徐々に緩和傾向にあるものの、コロナ禍前（2019年3月）との比較では、販売台数は16.0%減となっており、依然としてその水準は低い。

新設住宅着工戸数（3月）は、前年比23.2%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。足下では、「持家」、「分譲住宅」が減少傾向にある。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（2月）は、2か月連続で下降（2か月間で11ポイント下降）。その水準は約1年ぶりの低水準となっている。下降要因については、生産指数の上下動の大きい石油・石炭製品工業、化学工業での生産活動の低下が挙げられる。また、鉄鋼業、電気機械工業においても生産指数が低下した。世界経済の減速等で、全国的に生産活動には弱さが見られる。先行きについても、弱含む展開が予想される。

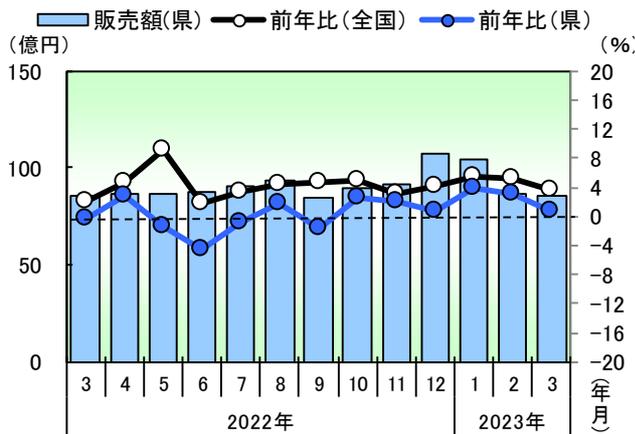
公共工事請負金額（3月）は、前年比57.1%増となり、7か月ぶりに前年を上回った。新

宮紀宝道路、すさみ串本道路関連工事など国発注の工事が多数見られた(総額 157.7 億円)。国発注工事の請負金額が 100 億円を上回るのは約 7 年ぶり。2022 年度の累計請負金額は 2 月時点では前年比 1 割以上の大幅減となっていたが、3 月の多額発注を受けて、減少幅は 4.9%減まで縮小した。

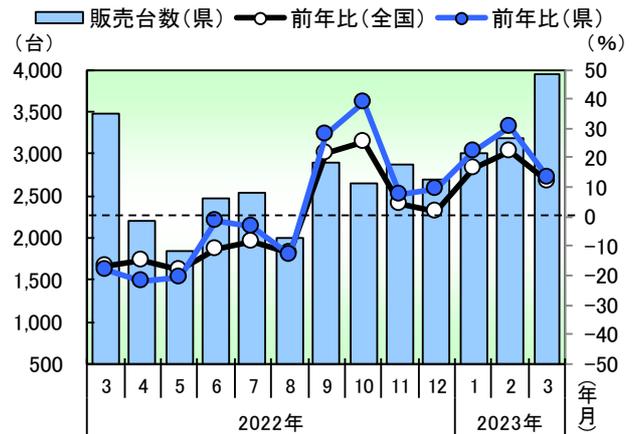
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI (3 月) は、前月から 0.2 ポイント下降し、一進一退の状況が続いている。今後の見通しについては、多くの業種で上昇が見込まれているものの、その上昇幅は全国に比べると小さい。物価上昇や人件費上昇の懸念もあることから、帝国データバンクは「県内景況感は低位での一進一退の状況が続くと見られる」としている。

③ 雇用面については、有効求人倍率 (3 月) は、前月から 0.01 ポイント下降し、1.19 倍 (下降は 3 か月ぶり)。有効求職者数の増加傾向が続く一方で、有効求職者数が大きく増加した。新規求職者については、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業などで増加している。

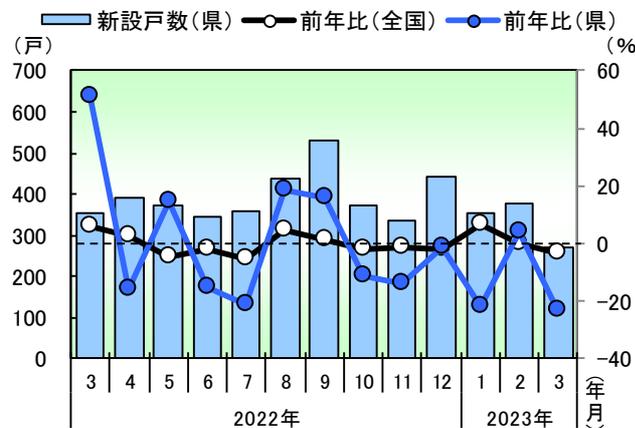
百貨店・スーパー販売額



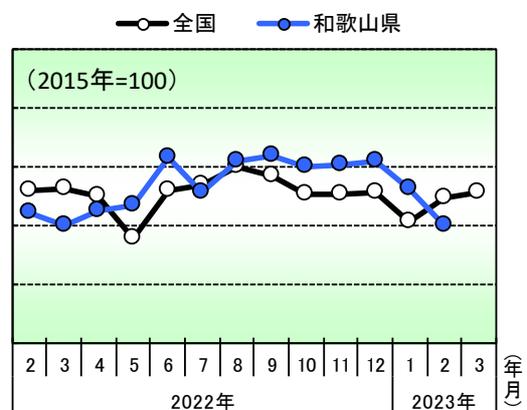
新車(登録車+軽自動車)販売台数



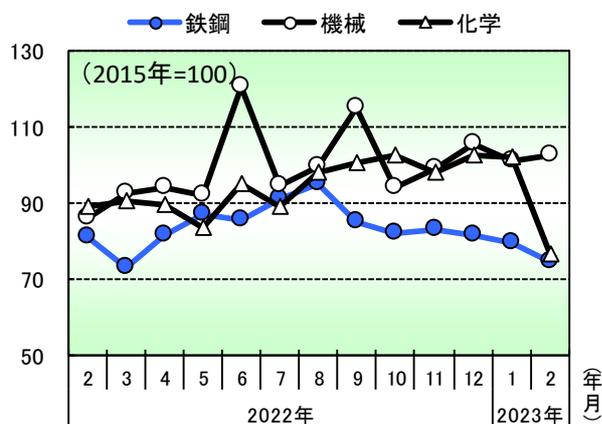
新設住宅着工戸数



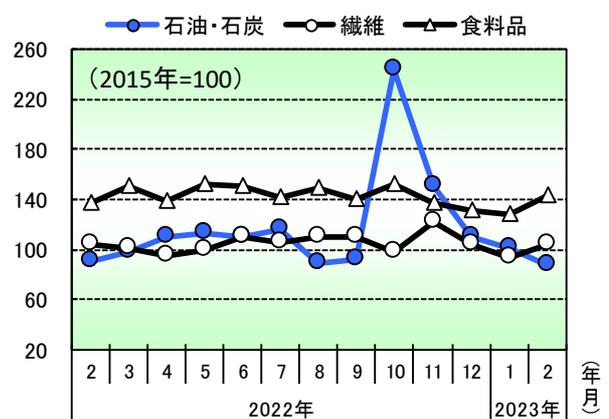
鉱工業生産指数



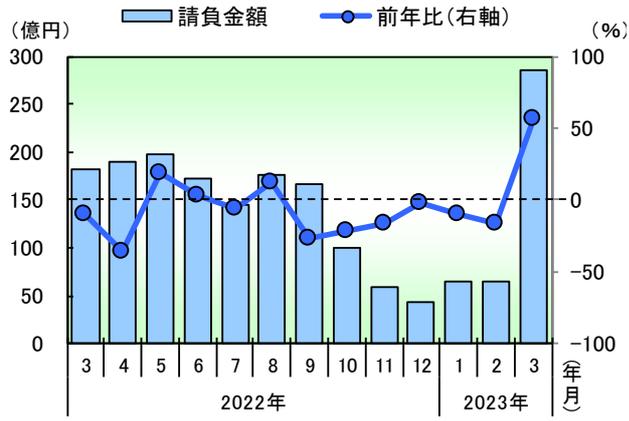
鉱工業生産指数(和歌山県)



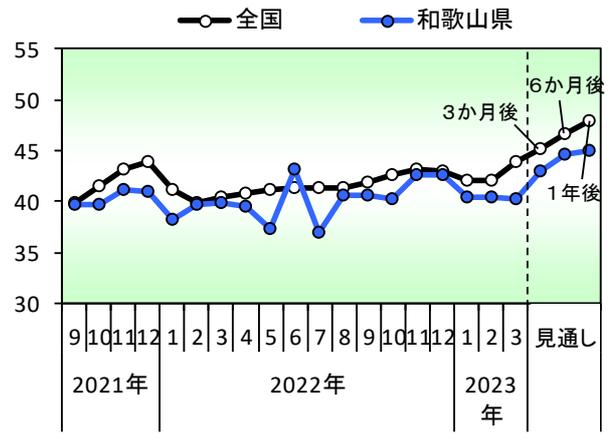
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

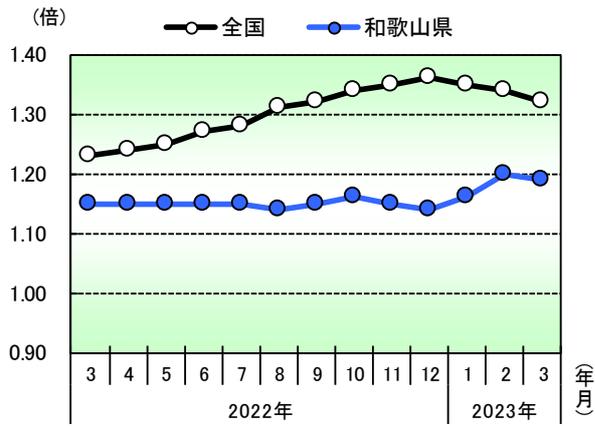


TDB景気DI (判断の分れ目は50)



(資料)株式会社データバンク

有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2017年	1,237	0.0	-1.3	38,692	5.3	4.7	4,539	-0.3	-5.6
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年2月	84.2	0.5	-2.7	2,442	-19.8	-26.3	364	6.3	8.3
3月	85.2	2.1	-0.2	3,483	-17.0	-18.0	353	6.0	50.9
4月	86.5	4.6	2.9	2,200	-14.7	-21.7	389	2.4	-16.0
5月	86.8	9.1	-1.3	1,847	-18.2	-20.6	375	-4.3	14.3
6月	87.6	1.9	-4.5	2,461	-11.2	-1.6	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.0	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.8	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2

(2022年4月28日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2017年	103.1	109.2	107.1	120.1	102.8	100.7	105.7	117.1	1,292.6	-9.5	
2018年	104.2	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	101.2	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	90.9	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	95.7	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年2月	96.2	92.4	80.9	86.1	89.1	90.4	104.0	137.1	79.1	-35.9	39.7
3月	96.5	90.1	73.0	92.7	90.8	97.7	101.4	150.7	181.7	-9.3	39.8
4月	95.1	92.7	81.4	93.9	89.7	110.3	95.3	139.2	189.2	-35.5	39.6
5月	88.0	93.6	87.0	92.2	83.7	113.2	99.2	151.4	198.0	19.0	37.4
6月	96.1	101.8	85.4	120.4	94.9	110.6	109.7	150.5	172.7	2.7	43.2
7月	96.9	95.7	91.3	94.7	89.0	115.6	105.3	141.5	145.3	-5.5	36.9
8月	100.2	101.2	95.1	99.6	98.1	89.8	109.4	149.1	176.8	12.5	40.6
9月	98.5	101.9	85.3	115.0	100.4	91.4	110.1	139.8	166.1	-26.9	40.6
10月	95.3	100.0	82.1	94.0	102.7	243.3	98.3	152.4	100.6	-21.2	40.3
11月	95.5	100.4	83.2	99.1	98.1	151.3	122.2	137.2	58.5	-16.1	42.7
12月	95.8	101.2	81.7	105.5	102.6	109.4	104.4	131.4	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	90.7	96.3	79.6	101.3	102.0	101.7	93.5	127.9	65.1	-9.6	40.4
2月	94.9	90.2	74.7	102.7	76.8	87.0	104.2	142.4	65.8	-16.8	40.5
3月	95.7								285.3	57.1	40.3

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2022年4月28日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2017年	1.50	1.27	17,110	13,518	22.2	19.3
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年2月	1.21	1.15	17,025	14,772	14.8	17.8
3月	1.23	1.15	16,943	14,742	18.7	21.9
4月	1.24	1.15	17,143	14,913	14.4	18.2
5月	1.25	1.15	17,305	15,110	17.0	19.7
6月	1.27	1.15	17,317	15,055	17.6	18.5
7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5

(2022年4月28日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。